

ともにつくる 一人ひとりが主役の ひた



市議会だより

第124号



なでしこ会のみなさん

もくじ

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| ●第3回定例会で審議した議案とその結果など
…2～3ページ | ●議会の動きなど
…15ページ |
| ●市政に反映、皆さんの声(一般質問)
…4～12ページ | ●インタビュー、編集後記
…16ページ |
| ●各委員会の議案等の審査結果、人事案件など
…13～14ページ | |

平成30年 第3回(9月)定例会 9/5～9/27 23日間

本定例会では、条例の一部改正や、8億5,901万円を追加する平成30年度一般会計補正予算など28件の議案について審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第67号	日田市議会議員及び日田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第68号	日田市農業構造改善事業協議会条例及び日田市林業構造改善事業協議会条例の廃止について	〃
議案第69号	日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃
議案第70号	日田市生活安全条例及び日田市同和対策審議会条例の一部改正について	〃
議案第71号	日田市税特別措置条例の一部改正について	〃
議案第72号	日田市手数料条例の一部改正について	〃
議案第73号	日田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第74号	日田市立認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
議案第75号	県営土地改良事業等分担金徴収条例の一部改正について	〃
議案第76号	財産の譲渡について	〃
議案第77号	市道路線の廃止について	〃
議案第78号	市道路線の認定について	〃
議案第79号	平成30年度日田市一般会計補正予算(第2号)	〃
議案第80号	平成30年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第81号	平成30年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第82号	平成30年度日田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第83号	平成30年度日田市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第84号	損害賠償の額の決定について	〃
議案第85号	平成30年度日田市一般会計補正予算(第3号)	〃
議案第86号	日田市教育委員会委員の任命について	原案同意(全会一致)
議案第87号	日田市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	〃
議案第88号	人権擁護委員の推薦について	〃
請願第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願	採 択(全会一致)
意見書案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決(全会一致)
議員提出議案第4号	議員派遣の件について	〃
議員提出議案第5号	日田市議会決算審査特別委員会の設置について	〃
認定第1号	平成29年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査(全会一致)
認定第2号	平成29年度日田市公営企業会計決算の認定について	〃

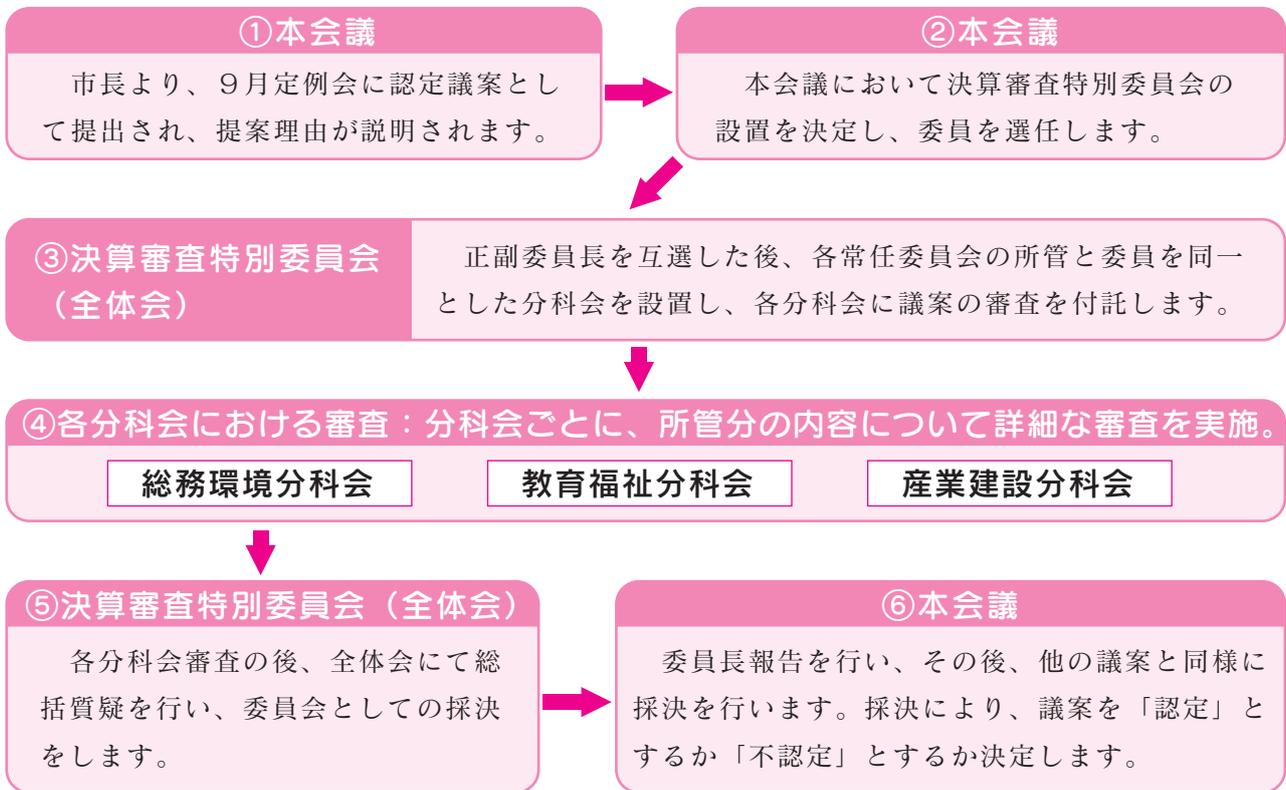
**しっかりとチェックし、
次年度に活かします**

今定例会において、平成29年度の予算に関する決算関連議案を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

この委員会は、従来は各会派から選出された委員10人で構成していましたが、今年度は、議長と議会選出の監査委員を除いた全議員（19人）で構成した全体会と現行の常任委員会を単位とする分科会を設置し、実質的な審査をこの分科会で行います。これは、当初予算を審査した常任委員会の委員が、一連の流れで決算内容を審査することで、より充実したチェック機能が果たせるメリットがあります。

今後は、10月中旬に審査を行い、次の第4回定例会（12月議会）において、認定又は不認定の採決を行うこととなります。

決算審査の流れ



ホームページのご案内

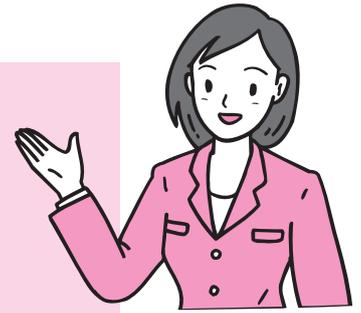
<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。9月定例会の会議録は、12月上旬から閲覧することができます。



市政に反映 皆さんの声



平成30年第3回定例会では、9月12、13、18日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、17人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 持続可能な行政運営のための不祥事再発防止の考えを伺う。
市長 職員の非遵行為に対しては適正に処分を行い、市民との信頼関係を取り戻す持続可能な行政運営を行う。
質問 副市長に不祥事再発防止委員会の委員長として法令順守の管理体制について伺う。
副市長 これまでの種々の不祥事案の発生を踏まえ、委員会では不祥事再発防止のための行動指針の改訂版を3月に策定した。
質問 臨時職員を含むいろいろな職員が働いているが、業務中に交通事故を起こさない指導について伺う。
市長 交通事故の防止は以前からの課題として改訂版に取り入れ、全庁的に取り組んでいる。



今年のレガッタ大会の様子(大津市 琵琶湖)

質問 第28回全国市町村交流レガッタ大会が来年9月に三隈川を主会場に本市で開催される。今後の準備計画や宿泊等の受け入れなどについて伺う。
教育次長 大会は一年後を予定しており、準備については、他の市の取組状況等を踏まえ進めていく。宿泊等の受け入れは旅館組合と、その他競技全般についてはボート協会と協議する。

【一般質問】

市は実効性のある
不祥事再発防止策を！



市民クラブ
高瀬 剛 議員

議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。

【一般質問】

急げ!!
小中学校特別教室の
エアコン設置



新世ひた
中野 哲朗 議員

質問 今夏の暑さは、「命に関わる危険な暑さ」と言われた。平成33年度までの完備を計画している小中学校特別教室のエアコン設置を前倒しできないか。

教育長 国の補正予算により、補助金の確保ができれば、事業の前倒しを行いたい。

質問 度重なる市職員の不祥事の原因は「日田市役所の長い間の積み重ね」にあり、「人事管理の総合的な水準が低い」と述べた副市長の発言の意図は何か。
副市長 人も組織も慣れることが緩みにつながる。人事管理政策の全般で人材育成と組織強化の観点を取り入れる改善が必要との考えで申し上げた。

質問 市長の最高補助機関である副市長がハラスメント行為に

よる苦情申立てを受けたことは極めて異例だ。職員との信頼関係は大丈夫かとの懸念を持つが、市長の所見を伺う。

市長 誤解だろうと、何だろうと、そういうふう感じた方がいたことは事実だと思う。今後の言動に注意してもらいたい。
質問 この他、異常洪水時防災操作に対する市の認識を質問した。



エアコンがない学校の図書室

【一般質問】

日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果の周知を!!



新世ひた
石橋 邦彦 議員

質問 市の創生事業が4年目に入っているが、市民からは、何に取り組んでいるのか感じ取れないとの声が多い。市長の見解を伺う。

市長 人材育成に力を入れながら取り組んできた。移住・定住対策、子育て支援策など、充実した施策への評価もある。

質問 創生関連65事業のうち、半数近くは90%の達成率である。事業成果がどのように市に影響を与えているかを市民に周知し、関心を持ってもらうことが必要だと思うがどうか。

市長 市民に向けての事業成果の情報伝達不足があると思う。このことは大きな課題だと思っている。今後、企画振興部を中心に具体策を考える。

質問 平成32年度から次期創生総合戦略の事業が始まるが、どのような姿勢で取り組むか伺う。
市長 今年度行う市民意識調査の結果を踏まえ、市民ニーズを把握し、参画を促すような計画策定を進めていく。



【一般質問】

市内の小中学校の
ブロック塀緊急調査の
結果と対応は！



公明党
松野 勝美 議員

質問 大阪北部を中心に地震が発生し、この地震で倒壊したブロック塀の下敷きになって、通

学中の小中学生が犠牲になってい

る。日田市の小中学校のブロック塀緊急調査の結果を伺う。

教育次長 早急に撤去が必要と判断したものを+A及びA判定、撤去が必要なものをB判定、対応の検討が必要なものをC判定とし、4段階に分類した。

質問 この結果を基にした今後の対応を伺う。

教育次長 +A及びA判定で通学路に面した10校28か所については、今回の補正予算議案で撤去費用を計上した。その他B判定以上のブロック塀については、対象件数が多く、今年度中の対応が困難である。緊急度を考慮

し、年次計画により平成32年度までに撤去を行いたい。

質問 なぜ教員に調査をさせたのか。最初から専門業者に依頼しないのか。

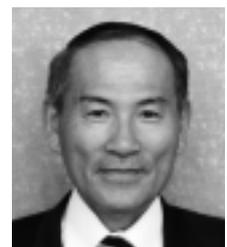
教育次長 市内には学校が30校あり、専門の技術職員が一律に出回るのは困難。教職員ができる範囲の中で緊急調査を行った。
質問 この他、災害ごみについて質問した。



撤去する学校のブロック塀

【一般質問】

小野小学校の再開は
いつになるか



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 小野小学校のこれまでの復旧工事の概要について伺う。

教育次長 校舎床下やグラウンドへの浸水被害や受電設備、浄化槽の復旧等に約1300万円。

浸水対策としての擁壁設置に約470万円掛かっている。

質問 それらの対策で小野小学校は教育施設としてすぐに使えるのか伺う。

教育次長 すぐにでも戻るとい

うことで修理等を実施したので不備はない。

質問 小野小学校での授業再開ができない理由を伺う。
教育次長 おおむね来年の出水期までは道路や河川の復旧工事が続き、工事車両が通行するため、通学の安全性の確保に不安がある。また、工事完了後の豪

雨期や台風時期の学校周辺等の状況が不明確なため、現時点での再開は困難と考える。今後

も保護者や地域の方々の意見も聞きながら判断していきたい。

質問 豆田で第40回全国伝建地区協議会総会・研修会があったが、研修会でどのような意見が出たか伺う。

教育次長 全国どこでも地区の維持や技能の伝承に苦慮しているとのことだった。



児童の帰りを待つ小野小学校

【一般質問】

日田彦山線の早期復旧を！



市民クラブ
溝口 千壽 議員

質問 今年の4月から始まったJR九州と沿線自治体との復旧会議での議論や検討会での提案の中身を詳細に伺う。

市長 JR日田彦山線の復旧はJR九州が行なうべきものである。しかし復旧費用が70億円と大きく単独での復旧は困難として、沿線自治体との協議の場を持ちたいとの申出が有り復旧会議を設置した。その中で鉄道軌道整備法の活用、着工時期は一年以内を目標とし、早期着工を目指すことで合意した。復旧後の運行等に係る費用は、JR九州が負担していくのが当然。上下分離方式などの運行経費を市が負担していくことは考えていない。



被災したままの線路

されているが、詳細が伝わらない。市側から詳細な情報が伝わるよう検討できないか。

市長 市側も詳細が知らされない状況である。今の会議の進め方では住民は不安であるというので議会でも、意見書提出など、一緒にJR側に働きかけてほしい。

【一般質問】

敬老会の開催補助を
求める！



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 敬老会の開催に対する支援を検討したことはあるか伺う。

部長 平成17年3月の市町村合併のとき、敬老会補助、敬老記念品の贈与、敬老祝い金の支給、敬老年金を一旦廃止し、90歳と100歳になられた方へ敬老記念品を贈ることを決めた。

質問 敬老会の開催に対する支援について、他市の状況を把握しているか伺う。

部長 17市町村のうち、大分市や別府市など9市町が敬老会に対する補助を実施している。助成金額は参加者1人当たり500円程度から2千円程度。

質問 70歳以上の高齢者1人当たり千円の補助を自治会などにした場合、事業費はいくらになるか伺う。

部長 市内に70歳以上の方が約1万6千人いる。よって1千6百万円が必要となる。

質問 敬老会の開催支援を検討課題にすることはできないか。

部長 どのような形で行うかについては、今後の課題と想っている。



敬老の日を祝う地域の取組に支援を

【一般質問】

色弱者へ更なる配慮を！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 いわゆる色弱者と言われる方々は市内にどれくらいいるのか伺う。

部長 学校保健法施行規則の一部改正により、平成15年度から検査項目がないため状況は把握できない。

質問 把握できないのであれば様々な場面で配慮が必要と考える為、今後の取組を伺う。

部長 福祉保健部が中心となって正しい知識の普及啓発を行い、最適な方法を調査研究していく。
質問 例として市が発行する市報やパンフレット、その他印刷物にも配慮が必要と考えるがどうか。

部長 これも福祉保健部が中心となって各部と協議してガイドラインを作成していく。

質問 学校現場での配慮の必要性も伺う。

教育長 各学校では個別の相談・検査が行える体制と眼科医の専門的な検査を勧めている。

質問 色覚チェックという色が識別しやすいものがある。これを各学校で導入できないか伺う。

教育長 今後、色覚をサポートするチェックの購入・使用については更に進める様に校長会などを通じて働き掛けていきたい。



【一般質問】

認知症の人の意思決定支援
ガイドラインの認識は！



公明党
坂本 茂 議員

質問 厚生労働省が策定した認知症の人の意思決定支援ガイドラインについての認識を伺う。

部長 ガイドラインを熟知し、より丁寧に支援ができるように周知を行い、家族や地域で見守る方々にも活用してもらい、普及活動に努めていく。

質問 若年性認知症の方の社会参加についてはどのように考えるか。

部長 本人の能力に応じて社会参加ができるように、オンラインカフェへの参加や認知症地域支援推進員に支援をお願いしている。
質問 学校では認知症への理解を深めるための啓発をどのように推進しているか伺う。

部長 平成28年度から校長会を通じてサポーターの養成講座を

開催し、市内の小中学校の児童生徒も参加している。

質問 見守り体制についてはどのような取組をしているか伺う。

部長 昨年、SOSネットワーク行方不明者搜索模擬訓練を豆田地区で開催し、今年度も11月ごろに実施予定である。

質問 この他、第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭について質問した。



6月に策定されたガイドライン

【一般質問】

市内全域で、だれもが
情報を得られる環境
づくりを!!



市政クラブ
安達 明成 議員

質問 防災情報の周知方法の状況、検討は怎么样了っているか。

部長 防災行政無線、SNSや携帯電話等で利用できる「ひた防災メール」の登録を勧めている。

質問 防災行政無線が聞きづらいつの意見が多いが、この問題の解消、災害時の断線を想定した新たな手段の検討状況は。

部長 平成29年度に調査したFM波によるコミュニティ放送システムは、全域をカバーできないとの結果で導入整備を断念。

現在、280MHzデジタル同報無線システムの可能性を調査した。有用な結果が出たので、今議会の総務環境委員会へ報告する。

※調査結果：釈迦岳山頂付近に



ひた防災メールに登録
できます。

送信局を設置し電波を送信すれば、全域で防災ラジオの受信が可能。有効性が得られたため、導入、実用化に向けて検討。

質問 高齢者等には、新システムによる手軽な防災ラジオ等の整備が有用であると思うが。

市長 システムの詳細な検討、費用等の問題もある。出前懇談会で意見をいただき、判断したい。整備するからには、より多くの市民に利用いただきたい。

質問 この他、市の障がい者雇用の状況などについて質問した。

【一般質問】

民間のブロック塀等の
撤去や改修に支援を!



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 耐震対策として民間のブロック塀の撤去費や改修費について支援を考えているか。

部長 県内では現在4市が実施。10市町が検討している。撤去費の2分の1で限度額が7万円から10万円。市も検討する。

質問 横浜市は撤去費に9割、改修費に5割補助で限度額が30万円。市の耐震計画で呼び掛けでも進まなかったのでは、他県市の例を参考に検討してはどうか。

部長 他県市の状況等調べる。

質問 大型商業施設建設に伴う雨水排水問題や各戸雨水貯留施設の整備については、市の開発協議や建築住宅課の協議で、市の実情を説明し、協力を求めて設置の促進を図ってはどうか。

部長 開発協議、市の環境保全

条例を用いながら、助言、指導をお願いしていく。

質問 高校生まで医療費の無料化を拡大してはどうか。

部長 豊後高田市、由布市では高校生の入院・通院が無料。国東市は高校生の入院費の無料化を本年4月から実施。日田市は子育て支援策が充実している。高校生までの医療費無料化は新たに3千万円かかるので考えていない。



民間住宅の危険なブロック塀

【一般質問】

交流センター等の
地域移管は地域の実情を
考慮すべき



新世ひた
三苦 誠 議員

質問 日田市公共施設等総合管

理計画による交流センター等の
地域移管協議における問題点の
実態把握状況と対応を伺う。

部長 利用状況の調査や自治会
長から意見を聞くなど地元との
協議を行ってきた。移管につい
ては関係各課と連携しながら地
元に丁寧な説明を行っていく。

質問 地域移管の対象となつて
いる交流センターが指定避難所
となつているが、災害が多発す
る近年、市が永続的に管理して
いくべきではないのか。

市長 交流センター等が指定避
難所となつている場合、公共の
安全・安心を守るうえからも、
施設管理の在り方を考えていく。

農業振興ビジョンの取組

質問 集落営農組織の育成強化

の取組状況を伺う。

部長 「人・農地プラン」を活
用し農業者の組織化を推進し、
大型機械導入等の支援に努める。

質問 現在、営農相談員を農協
に3名配置しているが、平成31
年度以降の配置方針を伺う。

部長 相談員配置が品質の向上
や収量増加等にもつながつてお
り、実績を踏まえ検討する。



指定避難所となっている交流センター

【一般質問】

地域共生社会の実現に
向けた拠点づくりを！



市政クラブ
高倉和一郎 議員

質問 地域・家庭・職場という

人々の生活領域における支え合
いの基盤が弱まってきている中
で、地域社会で居場所をなくし
た人々が増えている。地域共生
社会の実現に向け、誰もが集ま
り利用できる拠点づくりができ
ないか伺う。

部長 厚生労働省の具体的方針
が不明な現時点で市の方針を示
すことは難しい。

質問 障害者差別解消法の市条
例化の進捗状況はどうか。

部長 議会への条例案の上程に
向け、日田市地域自立支援協議
会において検討を重ねることと
している。企業の意見も聞き、
市民向けの講演会も行いたいと
思っている。

質問 地域共生社会の実現と障

害者差別解消法の市条例化につ

いて市長の考えを伺う。

市長 自治の在り方そのものを
基本的に変えていくという姿勢
をもって横断的に取り組む必要
があると考えている。

質問 この他、市内の小中学校
への競技用ボート体験の導入に
ついて質問した。



障がい者ボート競技の活動を通じ共生社会づくりを目指す『NPO法人 琵琶湖ローイングCLUB』

【一般質問】

2020東京オリンピック
聖火リレールートの誘致を!!



市政クラブ
坂本 盛男 議員

質問 大分県では、平成32年4月24日から25日に聖火リレーが予定されている。市としてこのルートの誘致に積極的に取り組むべきではないか。

教育次長 市としてもオリンピック開催に向けた機運の醸成とシティセールスのチャンスと捉え、誘致実現に向け、県に対して、要望等の働き掛けを行っていき

質問 色覚検査の現状と取組について伺う。

教育長 学校における色覚検査は、平成14年3月の学校保健法施行規則の一部改正により、平成15年の定期健康診断から削除し、希望者だけの検査へと移行した。色覚異常のある児童生徒については、学校と家庭が十分

に相談し、眼科医の専門的な検査を受けるように勧めている。

質問 認定こども園、保育園及び小・中学校への防犯カメラの設置計画、促進について伺う。

部長 保育施設については、計画的な防犯設備を行う。小・中学校については、調査研究をする。



保育施設の防犯カメラ

【一般質問】

養豚施設の臭気問題
早期に有効な対策を



市政クラブ
梅原 竜也 議員

質問 山田原の養豚場の臭気問題は、一向に改善されることなく、今もなお臭気範囲が拡大している。どのように対処しているのか伺う。

部長 5〜6月は、生菌剤を散布。7月からは臭気対策剤を散布したが十分な効果は得られなかった。8月25日からは次亜塩素酸ナトリウムを弱酸性に調整した除菌水を散布している。また、一施設では毎月300頭の導入。出荷数を9月以降は200頭程度に減らしていく話をしているところである。

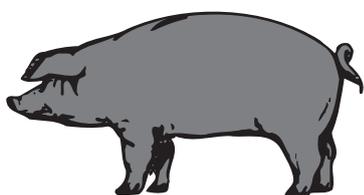
質問 市の屋外スポーツ施設の水道で飲料水として使用できない施設の状態を伺う。

教育次長 市が所管する野球場や多目的グラウンドは、13カ所

あり、飲用できない施設は野球場と光岡スポーツ広場である。

質問 平野球場に飲料水を引けないか伺う。

教育次長 現在は地下200mから水をくみ上げているが、水質も悪く水量も少ない状況である。手洗用の水としても不便な状況である。対策としては、水のろ過、タンクの増量等考えている。



【一般質問】

「新たな森林管理システム」の
施行に向けて実行性があるものに！」



市政クラブ
嶋崎 健二 議員

質問 新たな森林管理システムが来年度から導入されるが、この制度のメリットについて伺う。

部長 森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備や路網整備により、雇用の安定が期待される。

質問 日田市へ配分される譲与税の見込額と使途について伺う。

部長 来年度の市への配分見込額は、約8千3百万円。使途については、未整備森林のため、市が行う間伐などの森林整備やその促進のための人材育成と担い手の確保、木材利用の促進などの費用に充てられる。

質問 新たなシステム導入に当たっては、森林組合をはじめとする林業事業体に対し、市が求めたい役割について伺う。

部長 市が主体となり行う制度



未整備の森林

だが、森林組合やトライ・ウツドなどの事業体が現場に精通しているので、未整備森林や整備状況把握について、情報提供をいただきたい。また、現地調査の委託や森林整備に伴う一連の作業請負の受け皿になり得る。

質問 この他、高齢者の運転免許証の自主返納について質問した。

【一般質問】

「やっかい者」の竹を
資源として有効活用を！」



市民クラブ
古田京太郎 議員

質問 竹は繁殖力が旺盛で、森林や田畑、住居にまで侵入している。竹林の再生整備について伺う。

部長 竹林再生整備として、優良竹林化事業の募集を行っている。現在2件の問い合わせが来ている。引き続き募集を行っていききたい。

質問 竹林を再生させるためには、大量の竹林の資源化が不可欠である。大分大学が「セルロースナノファイバー」の実用化を進めようとしているが、日田市の考え方について伺う。

市長 県内で事業化する企業体があれば、企業誘致という形でアプローチする考え方もある。

質問 昨年、日立製作所が竹をバイオマス燃料として利用でき

る方法を開発した。発電やピニールハウス、ペレットストーブなど持続可能な燃料資源として活用する考えはないか伺う。

市長 興味ある話と思うが、コスト面で見合うのか検証していく必要がある。

質問 この他、高齢者福祉問題、小学校の英語教育、学校ICT化について質問した。



荒廃した竹林

報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

新しい公共推進事業について

本事業は、市内周辺部の人口減少や高齢化などの課題に対し、住民自治組織を設立し、集落機能の維持や住民自らの意志と活動により、必要なニーズへの細かい対応と地域特性を生かしたまちづくりを行ない、安心して快適に暮らせる地域づくりを行うものです。

今回の補正は、平成28年度から準備を進めてきた中津江地域において、今年10月からの住民自治組織の設立について住民の合意が得られたことから、組織の運営及び活動に対する交付金として平成30年度下半期分を予算措置するものです。今回の中津江地域での住民自治組織の設

立は、市内で最初の組織設立であり、今後、ほかの地域でも組織の設立に向けた協議が行われることから、先例となる非常に重要なものです。よって、委員会では、

一、地域活性化プランの作成と推進について市が継続した支援を行うこと。

二、市の業務委託などにおいて事業の継続性を確保すること。

三、住民自治組織の運営には、市及び地区社会福祉協議会を始め関係機関が共通認識を持ち連携して取り組むこと。これら3点を要望しました。



住民自治組織開所式の様子

● 教育福祉委員会 ●

危険なブロック塀の早急な撤去と改修

本年6月に発生した大阪北部地震による事故を契機とした学校敷地内にあるブロック塀の緊急点検は、建築基準法に不適合又は適合性が不明と判定されたもののうち、早急に撤去が必要なものについて撤去及びフェンス等を設置する事業です。

今回、撤去を行うブロック塀のうち、3年に1度行う法定点検において「要是正」の判定が出ていたものの、施設修繕の年次計画に反映されていなかったとの説明がありましたので、今回行う法定点検の結果を、確実に営繕計画へ反映させることを委員会として要望しました。また、ブロック塀等の設計図面が建設当時から無いものや、文書保存期間切れのものもあり、今後の保存体制においては再検討

をすべきとの意見がありました。その他農福連携推進事業については、障がい者の社会参加や賃金の向上等を目指し、日田市にあった農福連携システムを構築するための推進委員会を立ち上げます。委員会では、この推進委員会の議論が農福連携の推進に関し、より良い方向へ展開することを期待するという意見がありました。



撤去する学校ブロック塀

産業建設委員会

地域経済の活性化へ
プレミアム商品券の発行

●地域経済復興のためのプレミアム商品券

地震や豪雨など、度重なる自然災害により消費低迷が続いている中で、地域内の経済循環を強化するとともに、日田を訪れる観光客などにも消費を喚起することで、市内経済の景気浮揚を図ろうとするもので、このプレミアム商品券の発行に係る費用を補助するものです。委員会からは、市内外に広く行き渡るように、市民はもとより観光客等への周知や販売にあたって混乱を招かないような方法を十分検討すること。加えて、このプレミアム商品券の発行により、取扱い店舗の売上げなど市内の経済効果に繋がったのかなど、事業の検証に努めることを要望しました。



前回の商品券発行・受渡しの様子

●日田ふるさと市民制度構築事業
この事業は、日田市外に居住する、日田出身者や日田市を応援する人などに、SNSを活用して、雇用などの情報を発信する「日田ふるさと市民制度」を構築することで、地元就職を促進しようとするものです。

事業実施にあたっては、より多くの人知ってもらうため、市内外への積極的な宣伝活動に努めるように要望しました。また、より地元就職できるような環境整備も必要ではないかとの意見が出されました。

意見書

次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

平成31年度の政府予算、地方財政の検討に当たっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入、歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すことが必要であるとして、7項目について要望するもの。

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
- この他6項目

日田市教育委員会委員の任命

次の方々を任命することに同意しました。

- 永山 真江 氏（淡窓1丁目）
古田 嘉寿美 氏（隈2丁目）

日田市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

次の方々を委嘱することに同意しました。

- 橋本 成人 氏（城内新町）
山下 浩 氏（刃連町）
一木 俊廣 氏（淡窓1丁目）
池永 絢子 氏（南友田町）
小池 将光 氏（田島2丁目）

人権擁護委員の推薦

次の方々を推薦することに同意しました。

- 杉森 哲 氏（大鶴町）
早川 敏彦 氏（上津江町）
長谷部 徹 氏（中津江村）
佐藤 香津子 氏（前津江町）

議会の動き

若者が活躍するまちづくり に関する提言書を提出

市議会内に設置している政策研究会は、『若者が活躍するまちづくり』に関する5つの提言を市長に提出しました。

この政策研究会では、一昨年から高校生や市内で働いている若者達と、「若い力を生かしたまちづくり」に関して意見交換を行ってきました。

その中で、若者は豊かな想像力や行動力を持っているにもかかわらず、それが市政に届いていない現状が明らかとなったことから、若者の思いや提案を市の施策につなげるための仕組みづくりが必要であるという結論に至りました。

今後は、この提言書を契機に、市の将来を担う若者達に対する施策がより良い方向に向かうことを期待しています。



提言内容

- ・若者施策の推進と若者の人材発掘・育成・確保
- ・若者の意見が市政に反映できる仕組みの構築
- ・若者が活動できる場所の提供や、財政上の予算措置
- ・若者相談窓口の設置
- ・若者が活躍するまちづくり条例(仮称)の制定検討

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A 虚礼廃止にご理解ご協力を!

Q 議員が、従来から慣行として行われているお歳暮、お年賀などを選挙区内の市民に対して贈ることができますか。

A 親族に対して贈る場合を除き、寄附に当たりますので、禁止されています。

Q 議員が、選挙区内の市民に対して、年賀状を出すことができますか。

A 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。例えば、パソコンや裏面印刷による年賀状は、自筆によるものと認められませんが禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や運動会などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

第4回(12月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

12月4日(火)	本会議(議案説明)
11日(火)	} 本会議(一般質問)
12日(水)	
13日(木)	
14日(金)	本会議(議案質疑)
17日(月)	} 委員会
18日(火)	
19日(水)	
21日(金)	本会議(討論、採決)

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

○FAX 22-8249

○メール gikai@city.hita.oita.jp

表紙のみなさん

祇園囃子は男性だけが行うものと思っていませんか。今回は日田まつり振興会主催の集団顔見世で、女性として初めて平成山鉦に乗った「なでしこ会」にスポットを当て、代表の山本友紀さんたちに、練習会場である祇園山鉦会館でお話を伺いました。



どのような活動をしていますか

ここ5、6年は、参加者が結婚、子育てをしながらでも続けられる環境がだんだん整い、あがる程度の人数が集まることのできるようになりました。現在のの

会員数は17名で、毎週土曜に練習をしています。また、最近では私たちの活動を知っていたらいて、各地のふるさと祭りやイベントなどと呼んでもらえるようになりました。



会の最年少・池田理乃さん（小学生）と20代の高瀬遥さんに始めたきっかけなどのお話を伺いました。

池田さん：祖父が港町で暮らしていて、家族みんなも祇園に関わっているの、赤ちゃんのころから祇園囃子を聞いていました。笛の音色が綺麗なので入ってみましたかっただす。
高瀬さん：高校2年生の時、町

内の祇園囃子の練習をしているところに行ったら、いきなり太鼓をたたかされたのがきっかけです。大学を卒業したとき、日田に帰ってくるきっかけの一つでもあったので参加しています。



会の今後や市民のみなさんに伝えたいこと

各地の祭りなどに参加し、激励をたくさんいただいています。伝統芸能として若い世代につなげていけるような会にしたいと思っています。もっと祇園囃子を知っていただき、「私も習いたいな」と興味を持って、老いても若きも飛び込んできてほしいです。

編集後記

9月定例議会が終了しました。現在、議会報編集委員会（各会派代表5人で構成）では、「市議会だより」を、市民の皆さんがまずは手に取って興味を持って読んで頂けるよう、毎回編集委員会よりニュアールに向けた勉強会をしています。少しではありますが、表題の構成を変更し、写真やイラストを増やすことにより読者の方々から、少し読みやすくなったとお声をいただきました。

私たち編集委員の任期も来年3月までとなりました。今後も多くの市民の皆さんに読んで頂けるよう頑張ります。

（議会報編集委員会委員長
井上正一郎）



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局（☎08214）へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。